



代表 あいさつ

（男性——神宮寺 龍輝さん）

本日は二十歳を迎えた私たちの門出にあたり、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、梶野市長はじめ、御来賓の皆様には心温まるご祝儀と激励のお言葉を賜り、重ねて御礼申し上げます。

二〇二一年から新型コロナウイルスの発生により、私たちの生活が大きく変わり、友人と会えなくなってしまうたり制限された事も沢山ありました。が、コロナウイルスも終息に向かい、徐々に日常を取り戻しつつあるなかで、この晴れの日を大切な友人と迎えられた事を大変嬉しく思っています。

私は十年前、小学四年生の時に両親に連れられこの大田市にＩターンして参りました。仲良くしていた友人と別れ、知らない土地で過ごすのは、とても淋しく心細かったですが、地域の方々、学校・スポ少の関係者の方々、そしてかけがえのない友人に支えられ今日と言う日を迎える事ができ、これまで私を支えてくださった皆様に心から感謝しています。

私たちは二十歳を迎え、就職している者、学業に励んでいる者、また、地元を離れて生活する者、地域で活躍する者、立場は様々ですが、地元を愛し、地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、社会の一員として貢献できる事を誓い、二十歳のつどいの参加者を代表して挨拶とさせていただきます。

（女性——山根 奈菜聖さん）

私は、生まれ育った大田市に貢献したいという思いがあり、自分に何ができるのか学ぶために島根県立大学地域政策学部に進学しました。

今年からゼミ活動をきっかけに、町民の方へインタビューをさせていただいたり、石見銀山みらいコンソーシアムに参加させていただくなど、大森町に関わらせていただくようになりました。小学生のころから石見銀山学習を通して大森町の歴史や景観保護について学んできましたが、今年度、私は初めて大森町が人の魅力であふれる町であることを知りました。人口約四〇〇人の小さな町にはＩターン者やＵターン者が多く、興味深い経験や考えを持つ方が沢山おられます。町のために自分ができることを考え行動される町民の皆様とのかかわりは私にとって大きな刺激であり、学びであります。人の魅力あふれる大森町がある大田市で生まれ育ったこと、そして今、関わらせていただいていることに私は大きな誇りとうれしさを日々感じております。

大学生活を通して、私にはここ大田市で地域の人の魅力を感じられるような地域教育事業を行いたいという夢ができました。学生が地域の大人とかかわること、大田市で、そして、大田市の人としたいことを発見・実現できるサポートをしたいです。また、未来を担う若者にとって大田市が、ここで頑張りたい・一度外に出ても必ず戻ってきたいと思える場所にしたいです。

最後になりましたが、これまで大切に育ててくれた家族、共にかげがえのない時間を過ごしてくれた友人、教指導いてくださった先生方をはじめ多くの方に支えられたおかげで今の私があります。これまでかかわってくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。そしてこれからも私は大好きな大田市に貢献できるよう精進してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和七年一月四日

代表 神宮寺 龍輝

山根 奈菜聖